



学生もステップ

障害者施設などでボランティア経験のある学生にボランティアについて話をお伺いしました。

ボランティアを通して感じたことは?

- 相手の事を考えるきっかけになった。
- 障害のある方により興味を持った。
- 日頃の勉強を頑張るモチベーションになった。
- 自分の将来のイメージが広がった。
- 新しい出会いがあった。

【取材協力】
神奈川県立
保健福祉大学
の皆さん



みなと舎の職場体験が出来る 夏の有償ボランティア募集!

障害を持った方々の外出の付き添いや施設内での活動支援などスタッフのお手伝い。明るく暮らす障害者の方、先輩ナースやスタッフの動きを間近で感じられます。

7/24日(月)～9/29日(金) ※1日～参加OK
9時～16時 (昼1時間休憩) 開催されない日程有

対象 ●専門学生、短大生、看護高校生、大学生
場所 ●①生活介護事業「ゆう」(横須賀市芦名2-8-17) 月～金
②医療型障害児(者)入所施設「ライフゆう」

(横須賀市湘南国際村1-4-6)
月～日のうち1日～3日参加可能な方
定員 ●1施設1日3名

日額 ●5,100円(1日6時間)+
交通費実費支給(上限1,000円/日)

◆申込み・問い合わせ
社会福祉法人みなと舎
☎046(855)3911
(平日10時～17時)



最初はとまどい、つ、出来ることとが少なく、「私が担当ですみません。」という気持ちでした。メンバーさんはいろいろな方がいらつしやいます。表情や呼吸などから気持ちを読み取ったり、話しかけたり、耳元でお名前を呼んで手をたたいたりなどコミュニケーションを工夫しています。

☆メンバーさんと…

2人の子供がまだ小さく、近所のお友だちが働いていたこともあり、週に3日の非常勤スタッフとして入りました。家から近くて4時で帰れるので家事や子育ての時間もとれました。障害者施設で働いた経験はありませんでしたが、経験も資格もなくOK。子育てをヒントに愛情をもって勤めてくださいとお話で、安心して勤めることができました。

☆経験も資格もないところからスタート

横須賀市芦名の「みなと舎ゆう」で昨年の4月から支援主任となつた前田智美さんにお話を伺つた。14年目で、まわりのスタッフからは「前田さんなら」という信頼感。お任せできる器の広さがある人。「メンバーさんにもスタッフにも愛されるキャラ」「できないと言わない前向きで行動力のある人」という評判。笑いの集まる前田さんのステップアップは?

みなと舎の ステップアップ



写真:前田智美さん

肩ひじを張らず、自然体で仕事を楽しんでる前田さんは、ステップをみんな笑顔にするムードメーカー。いつもメンバーさんが楽しくなることをさがして頑張っている。

☆非常勤から常勤
そして支援主任へ!

子育てが楽になるにつれて週3日の仕事から週4日、5日へと勤務を増やしていきました。無資格からスタートして、ヘルパー2級(初任者研修)や喀痰吸引等研修(不特定対象)なども取得しました。非常勤から常勤になり昨年の4月からは「支援主任」というスタッフをまとめる仕事を任せられました。さらに今年4月からはサービス管理責任者としても活躍。

「メンバーさんが楽しく過ごして元氣にご自宅へ帰っていただくこと」を中心に考えていた非常勤スタッフの頃と比べ仕事内容も少し変わりました。ご家族のお話などをスタッフ間で共有したり、支援計画やスタッフの担当表を作る仕事です。「私にこの仕事出来るのかな?大丈夫?」ってメンバーさんに相談したら「大丈夫!」って笑顔が返ってきました。初心に戻った気持ちでいろいろと学んでいます。スタッフの皆さんにもぜひぶん助けられ、新しい仕事にチャレンジしていきます。